



おぐま通信



県政報告

2012.4 第3号

発行者 **おぐま 良一 事務所**
〒721-0975 広島県福山市西深津町4丁目7-5
TEL/084-983-1862 FAX/084-983-1863
E-mail : oguma@polka.ocn.ne.jp

●おぐま良一公式ブログ <http://r-oguma.blog.ocn.ne.jp>

県政に皆さまの声を届けます。
ご意見・御要望をお待ちしております。

予算特別委員会で代表質問(3月13日、14日)

平素より私の政治活動に対し、心温まるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。昨年4月の広島県議会選挙で初当選をさせて頂き、早1年が経過致しました。2月定例会での予算特別委員会では、党を代表し2日間にわたり質問に立ち、湯崎知事や県執行部に対し、被災地支援や県政に対する政策提言を中心に質問。前向きな答弁を引き出す事ができました。

これからも、初心の決意と御支持下された皆様へ感謝の気持ちをけっして忘れることなく、県民一人一人の声を県政に届け、安心・安全な暮らしを守り、そして活力あふれる広島県の発展の為に全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い致します。

県議会議員 **尾熊 良一**



1. 被災地がれきの受入れ処理について

質問 国が、がれき受入れの安全性での住民理解の説明会を実施し、受入れの財政支援と焼却灰最終処分への対応など行い、条件が整った場合に、県もがれきの受入れを正式に表明すべきではないか

答弁 国が責任を持って、がれきの安全性について国民の理解と信頼が得られた、という際は私としては、市町と連携し災害廃棄物を積極的に受け入れるべきものであると考えている(知事)

2. 鞆の浦の観光振興について

質問 広域的な観光施策を担う県と、地元福山市との連携は不可欠ではないか。地元福山市との連携も含め、鞆の浦の観光振興について、今後どのように取組もうとしているのか。

答弁 鞆の浦は本県を代表する観光拠点の一つであり、アニメ舞台や坂本龍馬ゆかりの地としても全国的に知名度が高まった。県としても鞆の浦をはじめとした瀬戸内海の魅力を県内外に積極的に発信するとともに、独特の歴史・文化や食をキーワードとした広域観光ルートの設定に取り組む(知事)



その他の質問

- 県内の産業振興と中小企業支援について
- 実践的な防災訓練や防災教育の実施について
- 引取り犬、猫の殺処分減少の取組について
- 小学校の民泊体験学習教育の推進について
- 特別支援学級の教育体制の整備について

インターネット中継

本会議の質疑・審議状況をインターネット中継(録画)しています。

県議会ホームページ

<http://www.pref.hiroshima.lj.jp/gikai/> 広島県議会



おぐま良一 この一年

1. 6月定例議会で初質問 (2011年6月30日)



1. 省エネ対策としてLED照明設置について

質問 省エネ対策として節電効果の大きいLED照明を県庁舎ならびに県施設に導入してはどうか

答弁 財源の確保を図った上で、継続や拡充について検討していく
⇒**県庁舎のロビー・廊下にLED照明設置実現!(2012年1月)**

2. 返還義務ない給付型「ふるさと奨学金」制度創設について

質問 県外から県内企業就職する学生に対する教育支援や優秀な若者の人材確保として、給付型「ふるさと奨学金制度」を創出してはどうか

答弁 県内企業等の人材確保を目的とした制度として、検討していく
⇒**専門職大学院生を対象に条件付きで実現!(2012年4月～)**

2. 東北被災地現地調査により被災地支援、広島県防災対策に取り組む

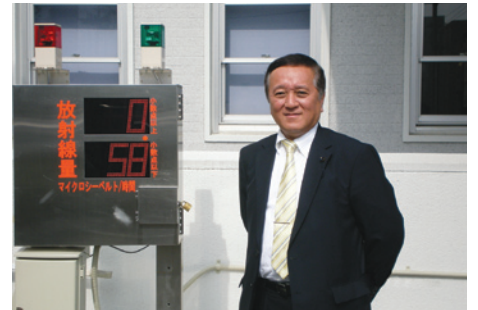
①宮城県亘理町 津波・がれき対策 (2011年5月)



②宮城県気仙沼市 カキ養殖再開支援 (2011年10月)



③福島県南相馬市 除染支援提案 (2011年10月)



3. 主な取組活動

①県内企業の産業振興の取組

広島県の製造業の「ものづくり技術」を活かし、好調業種である医療産業へ県内企業の新規参入活動を積極推進!



②犬・猫の殺処分減少への取組

県内施設で年間9000匹にもおよぶ引取り犬・猫の殺処分の減少に向け、動物愛護の観点から譲渡拡大に向けた取組を行う



県動物愛護センターにて調査

③障害者支援の取組

・成人発達障害者の自立生活・雇用支援への取組み
・特別支援学級の教育体制充実への取組み



支援の会の方と意見交換会

4. 実績 (市民相談)

①県道歩道水溜り・安全対策(西深津町)

雨天時に歩道内に溢れる雨水に対し排水口を設置し、河側に安全柵設置



②河川浄化(山手町)

河川に発生する大量の藻とゴミの撤去により河川浄化による環境問題を解決



③旧県道安全対策 転落防止柵(内海町)

川への歩行者・自転車の転落防止対策として新たに設置

